



平成 21 年 8 月 11 日

各 位

会 社 名：株式会社ファンケル  
代表者名：代表取締役社長執行役員 成松 義文  
(コード番号：4921 東証第一部)  
問合せ先：執行役員管理ユニット長 江上 克彦  
電話番号：045-226-1200

(訂正・数値データ訂正あり)「平成 22 年 3 月期第 1 四半期決算短信」の  
一部訂正に関するお知らせ

平成 21 年 7 月 30 日に公表いたしました「平成 22 年 3 月期第 1 四半期決算短信」の記載内容に一部誤りがありましたので、下記のとおり訂正させていただきます。

## 記

### 1. 訂正資料

「平成 22 年 3 月期 第 1 四半期決算短信」

### 2. 訂正内容 (訂正箇所には下線を付して表示しております。)

(1) 6 ページ 「2. 連結財政状態に関する定性的情報 (キャッシュ・フローの状況)」

#### 【訂正前】

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,890 百万円(前年同期は 1,431 百万円の収入)となりました。この内訳の主なものは税金等調整前四半期純利益 1,772 百万円、減価償却費 738 百万円などによる増加と、法人税等の支払額 1,310 百万円などによる減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,318 百万円(前年同期は 799 百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出 563 百万円、無形固定資産の取得による支出 290 百万円、関係会社株式の取得による支出508 百万円による減少であります。

#### 【訂正後】

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,641 百万円(前年同期は 1,431 百万円の収入)となりました。この内訳の主なものは税金等調整前四半期純利益 1,772 百万円、減価償却費 738 百万円などによる増加と、法人税等の支払額 1,310 百万円などによる減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,068 百万円(前年同期は 799 百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出 563 百万円、無形固定資産の取得による支出 290 百万円、関係会社株式の取得による支出259 百万円による減少であります。

(2) 11、12 ページ 「(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書」

※訂正項目のみ抜粋して記載しております。

【訂正前】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
売上債権の増減額 (△は増加)	△154	△234
小計	3,165	3,187
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,431	1,890
投資活動によるキャッシュ・フロー		
関係会社株式の取得による支出	—	△508
投資活動によるキャッシュ・フロー	△799	△1,318

【訂正後】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
売上債権の増減額 (△は増加)	△154	△484
小計	3,165	2,938
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,431	1,641
投資活動によるキャッシュ・フロー		
関係会社株式の取得による支出	—	△259
投資活動によるキャッシュ・フロー	△799	△1,068

以 上